

ちえふくろ



〒108-0014 東京都港区芝5-27-5

株式会社コネクト

代表取締役 三国浩晃

TEL 03-3453-8117

FAX 03-3453-8118

【Mさんの旅立ち】

お墓参りツアーからちょうど1ヶ月経った11月初旬にMさんが旅立ちました。

午前2時過ぎに姪御さんから電話があり「今、病院から連絡があり、容態が良くないとのことで、これから私もタクシーで病院に向かいます」と。

私はすぐに支度をして40分ほどで到着。病室に入ると、Mさんの心拍数が40台前半に下がっていて、話しかけても反応はなく、ゆっくりと呼吸をされていました。

その後心拍数が30台まで下がったので、私は姪御さんに電話をかけ、Mさんの耳元に携帯電話を持っていきました。姪御さんはMさんの耳元で「お姉ちゃま、今行きますからね～」と大きな声で呼びかけられました。するとMさんの心拍数は40台半ばまで上がりました。そして電話を終えたあとに、ゆっくりと心拍数が下がっていき、Mさんは静かに旅立たれました。とても穏やかな顔をされていました。

私は翌朝からMさんがお元気な時に依頼された通りに、動きました。「葬儀は、M家として恥ずかしくない格式のあるものを。葬儀の費用は340万円」「戒名は広島ของ菩提寺から頂いたものを。読経は横浜のH寺のご住職に・・・」そして「葬儀にお越しいただく方へ失礼の無いように。高齢の方が多く、道中何かあっても困るので、みなさんをご自宅まで車でお迎えに行ってください。遠方から来られる方にはホテルの

用意もして下さいね。費用は、足りなかったら私の残ったお金の中からお願いします」と。私はMさんのご親族、ご友人の方ひとりひとりに電話でMさんの意向を伝えさせていただきました。

みなさん「まあ、そんなことまで」とびっくりされたり、「Mさんらしいわね～」と電話口から声の笑顔が聞こえてきました。

実際、約20名の方にご自宅へのお車での迎えや、斎場からのお帰りの車をご用意いたしました。遠慮される方も多かったのですが、「これはMさんから私が託されたことなので、お断りになられると私がMさんに怒られます・・・」と。

私はMさんの遺影の写真を眺めながらやっぱりMさんはすごいな～と思いました。Mさんは22歳の時に広島で被爆をされ、それから生涯おひとりさまで暮らしてこられました。貿易関係の会社で定年まで勤め上げ、体が今までのように動かなくなるとご自身で介護付き有料老人ホームを選ばれ入居。そして旅立ちの計画。

Mさんのお葬式は、姪御さんが喪主を務められ、ご親族、ご友人の他に老人ホームの施設長やスタッフさん、看取りでお世話になった、ヘルパーさんや看護師さんも駆けつけてくれました。

Mさんは「おひとりさま」でしたが、Mさんを慕う多くの方が集まりました。まさにMさんの人生を象徴するような旅立ちだったと思います。 三国浩晃